

令和5年度 八戸市の財務書類【概要版】

(単位:億円)

■貸借対照表(令和6年3月31日現在)

貸借対照表(バランスシート)は、市の施設(公共資産)、市の所有する現金や基金、資産形成のために投資された資金や借入金などがどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。

科目	R 5			R 4			増減 (R5-R4)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
資産の部	2,563	4,342	4,961	2,592	4,379	4,998	▲ 29	▲ 37	▲ 37
固定資産	2,463	4,005	4,549	2,488	4,031	4,576	▲ 25	▲ 26	▲ 26
流動資産	100	337	411	104	347	422	▲ 4	▲ 11	▲ 11
負債の部	1,310	2,633	2,941	1,327	2,671	2,977	▲ 17	▲ 38	▲ 36
固定負債	1,207	2,432	2,712	1,223	2,466	2,747	▲ 16	▲ 34	▲ 35
流動負債	103	201	229	104	205	231	▲ 1	▲ 4	▲ 2
純資産の部	1,252	1,709	2,020	1,265	1,707	2,021	▲ 12	2	▲ 1
負債+純資産	2,563	4,342	4,961	2,592	4,379	4,998	▲ 29	▲ 37	▲ 37

■行政コスト計算書(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

福祉や教育などの人的サービスの提供など、資産形成につながらない行政サービスのコストがいくらかかっているかを整理したものです。

科目	R 5			R 4			増減 (R5-R4)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
経常費用(a)	990	1,681	2,055	978	1,637	1,945	12	45	111
人件費	115	245	297	111	240	290	4	6	7
物件費等	267	463	536	282	467	542	▲ 15	▲ 4	▲ 7
その他の業務費用	13	39	47	15	41	49	▲ 2	▲ 2	▲ 2
移転費用	594	933	1,175	570	889	1,063	24	44	112
経常収益(b)	24	280	351	23	271	342	1	9	9
純経常行政コスト(c)	966	1,401	1,704	955	1,366	1,603	11	36	102
臨時損失(d)	2	2	2	1	1	1	1	0	1
臨時利益(e)	6	5	5	3	4	4	3	1	1
純行政コスト(c+d-e)	962	1,398	1,701	953	1,363	1,600	9	35	101

■純資産変動計算書(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

市の純資産(正味の資産)が、令和5年度中にどのように増減したかを示します。

科目	R 5			R 4			増減 (R5-R4)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
前年度末純資産残高	1,265	1,707	2,021	1,280	1,691	2,003	▲ 15	16	17
本年度純資産変動額	▲ 12	2	▲ 1	▲ 15	16	17	3	▲ 15	▲ 18
【内訳】									
純行政コスト(△)	▲ 962	▲ 1,398	▲ 1,701	▲ 953	▲ 1,363	▲ 1,600	▲ 9	▲ 35	▲ 101
財源	946	1,395	1,696	937	1,378	1,616	9	17	80
その他	4	4	4	1	1	1	2	3	3
本年度末純資産残高	1,252	1,709	2,020	1,265	1,707	2,021	▲ 12	2	▲ 1

■資金収支計算書(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

「資金収支計算書」は、1年間の市の現金の収入と支出の差額が、どのような理由で増減しているかを性質別に区分して整理したものです。

科目	R 5			R 4			増減 (R5-R4)		
	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結	一般会計等	全体	連結
前年度末資金残高	42	182	—	41	182	—	1	▲ 1	—
当年度資金収支額	▲ 4	6	—	1	▲ 1	—	▲ 6	6	—
【内訳】									
業務活動収支	44	100	—	47	114	—	▲ 3	▲ 14	—
投資活動収支	▲ 28	▲ 77	—	▲ 20	▲ 82	—	▲ 9	5	—
財務活動収支	▲ 20	▲ 17	—	▲ 26	▲ 33	—	6	15	—
当年度末資金残高	38	188	—	42	182	—	▲ 4	6	—

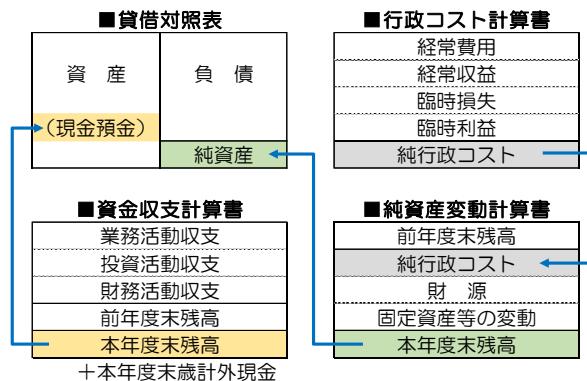
※連結会計の資金収支計算書は、連結対象団体によって作成していない団体があるため省略しています。

【会計の範囲】

連 結 (27会計)

全 体 (16会計)	
一般会計等 (5会計)	
①一般会計	①国民健康保険特別会計
②土地区画整理事業特別会計	②魚市場特別会計
③学校給食特別会計	③駐車場特別会計
④墓園特別会計	④中央卸売市場特別会計
⑤母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	⑤介護保険特別会計
	⑥南郷診療所特別会計
	⑦後期高齢者医療特別会計
	⑧産業団地造成事業特別会計
	⑨自動車運送事業会計
	⑩市民病院事業会計
	⑪下水道事業会計
	⑫八戸地域広域市町村圏事務組合
	⑬八戸圏域水道企業団
	⑭青森県後期高齢者医療広域連合
	⑮青森県交通災害共済組合
	⑯青森県市長会館管理組合
	⑰八戸市土地開発公社
	⑱(一財) VITSIT はのへ
	⑲(公財) 八戸市総合健診センター
	⑳(公財) 八戸地域高度技術振興センター
	㉑なんごうプラザ(株)
	㉒(社福) 八戸市社会福祉事業団

【財務書類4表の関係】



- ・貸借対照表の「純資産の部」の変動を表したもののが、純資産変動計算書です。
- ・純資産変動計算書における純資産の変動要因の主なものが「純行政コスト」と「財源（税収等、国県等補助金）」ですが、そのうち「純行政コスト」の明細を示すのが行政コスト計算書です。
- ・資金収支計算書は、資金の収入と支出を表す計算書で、歳計現金の「本年度末残高」に歳計外現金を足したものが、貸借対照表の「現金預金」と一致します。

【増減の主なもの（一般会計等分）】

■貸借対照表

固定資産	R5 : 2,463 億円	-	R4 : 2,488 億円	=	▲ 25 億円
固定負債	R5 : 1,207 億円	-	R4 : 1,223 億円	=	▲ 16 億円

旧八戸市総合健診センター改修事業、小中学校空調整備事業の実施により建物資産は増加しましたが、減価償却累計額を含めると固定資産全体では25億円減少しました。
また、地方債は借入よりも返済が多く、固定負債は16億円減少しました。

■行政コスト計算書

物件費等	R5 : 267 億円	-	R4 : 282 億円	=	▲ 15 億円
移転費用	R5 : 594 億円	-	R4 : 570 億円	=	24 億円

新型コロナワイルスワクチン接種費用等の減により、物件費等は15億円減少しました。
また、物価高騰重点支援給付金（国補助）や市民病院事業会計負担金等の増により、移転費用は24億円増加しました。

■純資産変動計算書

財源	R5 : 946 億円	-	R4 : 937 億円	=	9 億円
----	-------------	---	-------------	---	------

地方交付税等の増により、財源は9億円増加しました。

■資金収支計算書

投資活動収支	R5 : ▲ 28 億円	-	R4 : ▲ 20 億円	=	▲ 9 億円
財務活動収支	R5 : ▲ 20 億円	-	R4 : ▲ 26 億円	=	6 億円

投資活動収支は、公共施設等整備時支出の増等により、9億円減少しました。
また、財務活動収支は、公共施設整備等に係る地方債発行収入の増により、6億円増加しました。